



発行所
伊方町 伊方町報
愛媛県西予郡伊方町湊通
〒796-0303 伊方町38-0211
編集 伊方町報社
印刷 伊方町報社
社 伊方町報社
〒796-0303 伊方町38-0211

今月の紙面

- 二面……長寿おめでとう
町内のお年寄り千六百四十九人
- 三面……民話と伝説
「音津の奥の山を見る」
町の話題
- 四面……青春ネットワーク



障害者雇用促進月間

町見地区農薬散布が自動に

野村ダムから送水される南予用水を利用した畑地かんがい事業が町内で着々と進められています。

町見地区第六ブロック(二十九戸)が、受益農家六十五戸(でも八月二十六日、初めての農薬散布を行いました。

畑地かんがい事業は、樹園地内に専用パイプを配管してスプリンクラーを設置。農薬散布や散水などを全自動で行うものです。

町内の各ブロックで工事が進められています。町見地区第六ブロックでも、昭和六十

二年九月に着工。このたび各ブロックで完成して、八月二十六日初めての農薬散布を行いました。灌漑地区第七ブロックが



コンピュータ制御で集中管理

昭和六十一年十一月に完成してから、町内で九番目。町見地区では最初の完成となりました。

この日は、Mタイプファイトオルトランを散布。散布時間は準備から後始末を入れて六時間あまり、それでも一区画(約二十五町)当たりの所要時間は約三分で、手作業のあの時間になります。

第六ブロックでは、最初の散布でもあり、再度スプリンクラーの可動や防風垣の高さなども点検して、慎重に散布を行いました。

千ばつに「威力」発揮

町内で最初に完成した灌漑地区第七ブロックでは、年間七回程度の防除を実施。黒点病、天牛など、殺菌剤の散布に威力を発揮しています。

また、今年も幾つた千ばつの時には、早くからかん水を行い、この事業のきっかけとなった千ばつに対しても、充分に施設を活用することができました。

省力化とともに、一斉に同じ地域を散布することで防除効果も高く、農業を全身に浴びる心配もなく自動的に散布が行えます。さらに、町内全体が完成すると、現在ブロック単位で行っている散布を各ブロックが同じ日に実施すれば、なお一層の防除効果も期待されます。

農家は、従事者の高齢化や兼業化が進んでいます。そのため、農業の構造改善を図り、経営の安定と近代化を進めるうえで、この畑地かんがい施設は欠かせない事業の一つと言えます。

農家は、従事者の高齢化や兼業化が進んでいます。そのため、農業の構造改善を図り、経営の安定と近代化を進めるうえで、この畑地かんがい施設は欠かせない事業の一つと言えます。

農家は、従事者の高齢化や兼業化が進んでいます。そのため、農業の構造改善を図り、経営の安定と近代化を進めるうえで、この畑地かんがい施設は欠かせない事業の一つと言えます。

農家負担を軽減

南予用水事業は大きく別けると二つに別れます。

一つは、野村ダムから各地域(市町村)まで水を導入する幹線工事の国営事業と、この水を受けて園内のスプリンクラーまでの支線を配管する県営畑地かんがい事業です。

町では、基幹産業の育成と農業経営の安定を図るため、国営事業費の地元負担金を全額町が負担。県営畑地かんがい事業でも、五〇〇万円を国補助金、二五〇万円を県、あとの地元負担金二五〇万のうち二〇〇万円を町が負担しています。

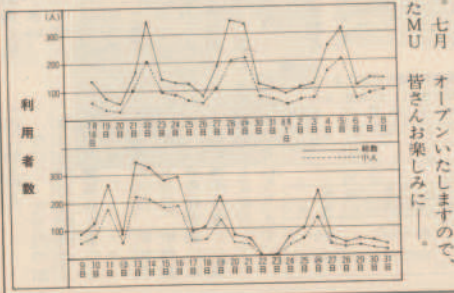
現実的な農家負担は、県営事業の地元負担金のうち五〇〇万で済み、これは八西地域の中でも、最も農家負担の軽減を図り事業が進められています。

現在、完成しているのは全体四十ブロックのうち九ブロック。総面積二百十五ヘクタール。全体完成は平成七年を目標に進められています。

泳いだ泳いだ6,590人 MURO海水プール

今年の夏は記録的な猛暑やほり、土・日曜日の利用者が目につきます。お盆の十三日(月)十六日(木)も一日平均三百八十人、帰郷された皆さんにも海水浴を楽しんでもらった結果が出ています。

また、キャンプ場として、二十八組・五百四十八人の利用がありました。八月十九日開業となり、松山気象台創設百周年記念事業の一環として、今年も家族で楽しめる楽しい施設を目指してオープンいたします。



水谷新一巡査長

こんにちは！ 駐在さん

ひとこと：内子町から伊方駐在所へ来ました水谷です。伊方は、生まれ育った故郷と同じ海の香りがして、なつかしく親しみを感じます。土地の事情に不慣れですのでご協力をお願いします。松山市三津出身(四十三歳) 家族：さえみ夫人と二男一女



子供たちの通りに大喜び 加周・田之浦・古屋敷合同敬老会で

長寿おめでどう

九月十五日は「敬老の日」この日から一週間は「老人福祉週間」です。町内には、六十五歳以上のかたが千六百四十九人います。こうした機会に、お年寄りの福祉について関心と理解を深めましょう。

米寿

今年数えて八十八歳明治三十六年生まれて米寿を迎えられた皆さん、おめでどうございませぬ。

おしどり夫婦三十組 米寿は十六人

九月十一日、厚生省が発した恒例の「全国高齢者名簿」によりますと、九月末日までは百歳以上となる人は、昨年より二百二十人増えて三千二百九十八人、昭和四十六年以降、二十年連続の増加となりました。

健康老人 八十一人

町の国民健康保険加入者の中で、一年間病院などで診療を全く受けず、健康増進に積極的に協力した七十歳以上の

金婚式

昭和十六年に結婚して五十年、今年めでたく金婚式を迎えられた。おしどり夫婦が町内に三十組、昨年十四組あります。

米寿

記念に県知事から木盃、町から赤塚布団とお祝いを贈りました。今年はお祝いの十六人(昨年二十四人の皆さん)です。竹村 晋(中之浜)



東方閣脇 二宮形吉さん

食事は腹八分目が適量。若い頃から暴飲暴食をしない健康に気をつける。 蛋、麦、みかんと農業一筋の人生。今だに、農業の将来が心配だと話す。海が見えるベランダで体操したり、趣味の本や新聞を読むのが楽しみ。



西方大間 角井ユキさん

よく食べ、よく寝る、のんきに過している。寝たきりにならないように、毎朝ゴミを取集場所まで出しに行く。目が悪いので新聞は虫メガネで読むが、すもうや歌舞伎など、テレビを見るのが一番の楽しみ。

腹八分目が適量



金婚式 二宮廣海・セイコさん

「泣いたり笑ったりで」と五十年間をふり返る。本当は届出の日より数ヶ月も前に結婚していました。 お孫さんの成長と晩酌が楽しみというおとうさんの心配の種は、農業後継者の嫁不足の解消です。



米寿 祖母井タツミさん

夜が明けるとやれやれする。体操や体を動かすことが好きで、夜は動けないから嫌いなこと。体操で腕の痛みを治したこともある。 山道の草刈りをしたり、風呂焚きが日課で、毎日のんびり過している。

泣いたり笑ったり

65歳以上のお年寄り (9月1日現在)

部落名	人数	割合	部落名	人数	割合
大 浜	140	20.3%	奥	60	22.3%
中 之 浜	66	23.3%	向	53	21.4%
仁田之浜	77	15.2%	畑	66	22.3%
河 内	84	19.0%	須 賀	58	24.6%
湊 浦一	149	12.5%	久 保	41	27.3%
湊 浦二	18	21.2%	西	50	25.6%
小中浦	44	18.9%	二 見	37	27.2%
伊方越	38	25.3%	加 周	46	24.5%
亀 浦	33	20.9%	田之浦	74	26.6%
中 浦	69	19.6%	古屋敷	39	30.7%
川永田一	154	23.5%	大 成	36	24.7%
川永田二	39	21.1%	鳥 津	44	28.2%
豊之浦	134	17.6%	合 計	1,649	20.3%

AQ Zeiのトビラ



町民税のからからならない所得と税率について教えてください。町民税は、個人と法人とに区分されますが、個人の町民税について説明します。町民税は、毎年一月一日現在で町内に住所がある人を対象に、均等割と所得割に分けて課税されます。質問の税金のからからならない人は、次の人々です。

- ① 前年所得額が一定基準(二十七万二千円×控除対象配偶者及び扶養親族の合計数+一人)以下の人。
- ② 生計を一にする夫に均等割が課税されている妻。
- ③ 所得割がかららない人
 - ① 前年所得額が一定基準(三十四万円×控除対象配偶者及び扶養親族の合計数+一人)十九万円以下の入。
 - ただし、九万円の加算は控除対象配偶者又は、扶養親族を有する人のみ。

町民税と県民税の税率表(平成2年)

※県民税も市町村民税と併せて徴収し、単一納付します。

町民税		県民税	
町民税	税率	県民税	税率
1,500円		7.00円	
町民税		県民税	
課税所得の区分	税率	課税所得の区分	税率
120万円以下	100分の3	500万円以下	100分の2
120万円超え	100分の8	500万円超え	100分の4
500万円以下	100分の11	500万円超え	100分の4
500万円超え	100分の11		

AQ 税金の納期についてお尋ねします

税金の納期は、軽自動車税が四月、それ以外の個人町民税、固定資産税、国民健康保険税とも十月(六月・三月)に分けて納付(普通徴収)することになります。また、給与所得者は特別徴収といつて給料からの天引き徴収となります。普通徴収の税金については、六月又は七月中に全納期分を前納すると報奨金制度があります。逆に、各納期内に納税できない場合は、延滞金がかかることがあります。納税は、忘れずに便利な口座引落しをお進めします。

民話と伝説

補作/岡村豊 挿絵/山本一路(湊浦)

⑦

音津の奥の山を見る

須賀

る所に給水せすくと、お天気はよいよ、天の邪鬼よのう。また暑さがいらもんで、今日も暑い。私が幼少のころ、祖母からよく昔ばなしを聞かされたのを思い出した。昔、九町にの、よう仕事しいの百姓がおりましてな、その頃は、牛の飼育が盛んでこの農家もわが内に、「駄屋」を造って、牛の肥育に精を出し



昔からな、二百二十日は二百十日とともに、暴風雨に襲われる厄日とされておるが、一方ではもう秋で、セキレイが鳴きツバメが去るころで、例年なら秋霖の季節のがにのう。うっとうしい雨が一日、涼しくしてくれる秋雨前線も北に上り、本来降るはずの雨にもわか雨程度で、天は欲す

たど、昔のことなら、野良仕事をすにも地下足袋などなく、足半(わら草履)を履いてしまったのせ、やれやれこわやのと言いつながら、一服しようとそのに腰をおろし、自分の目の前に、くちなわが一匹、朝日に向って拝んでいのように見えたそうです。い。その、くちなわが、頭を上げては下げ、また上げて

見たら、自分の背負ったオイコじり、綱が道の草にあたって音をたてていた事に気がついていた。大蛇と出会った百姓は、何日何日も高熱にまき、床に臥せて野良仕事もできず、様ではなかつたそうです。大蛇が現われたという場所は、現に、水道組合の水源地あたりです。

協力者 須賀 門田幾光氏



竹本イチヨさん(須賀)が今年の新寿町内一

今年もお年寄り番付を作ってみました。これをみますと、東方の横綱は清家宗市さん(亀浦)で94歳。西方は竹本イチヨさん(須賀)の94歳でした。

お年寄番付

勳進元：伊方可 平成2年9月1日現在

東 方 (男)				西 方 (女)			
住 所	氏 名	年 齢	番 付	住 所	氏 名	年 齢	番 付
亀 浦	清 家 宗 市	94	横 綱	須 賀	竹 本 一 十 三 子	94	1
湊 浦 一	松 澤 浪 太 郎	94	大 関	湊 浦 一	角 井 ユ キ	93	2
中 之 浜	二 宮 形 吉	93	関 脇	川 永 田 一	兵 頭 ム メ ヨ	93	3
大 二 成	大 成 金 右 衛 門	92	小 結	古 屋 敷	濱 田 サ イ	92	4
大 二 見	成 本 久 之 丈	91	前 小 結	浜 本 太 夫	濱 本 タ イ	92	5
須 賀	岡 村 吉 治	91	2	豊 之 浦	中 田 百 歳	92	6
畑	阪 戸 朋 三 郎	90	3	川 永 田 一	畑 中 イ セ	91	7
湊 浦 一	米 田 繁 喜	90	4	二 見	神 山 マ サ ヨ	91	8
豊 之 浦	坂 田 浦 太 郎	90	5	河 内	藤 堂 フ タ ク ヨ	91	9
小 中 浦	渡 辺 豊	89	6	二 見	金 山 ヲ セ キ	91	10
畑	得 能 徳 一	89	7	鳥 津	道 元 カ ナ 子	91	11
湊 浦 一	辻 良 貞	89	8	河 内	河 内 川 シ 川	91	12
大 浜	中 藤 宗 一 郎	88	9	河 内	渡 辺 ハ ツ	90	13
中 之 浜	渡 内 芳 太 郎	88	10	河 内	谷 内 テ ッ ヲ	90	14
大 成	中 田 一 二 三	88	11	亀 浦	安 部 マ ツ エ	90	15
西	武 内 莊 平	87	12	川 永 田 一	阿 部 ヤ ス ノ	89	16
豊 之 浦	谷 口 春 多 賀	87	13	小 中 浦	末 光 チ ヨ	89	17
須 賀	松 本 藤 之 助	87	14	豊 之 浦	井 上 イ ツ	89	18
豊 之 浦	河 野 太 郎 一	87	15	奥	渡 辺 マ ス ミ	89	19
奥	渡 辺 浅 太 郎	87	16	二 見	大 野 ヲ ト ラ	89	20

した、
 (大浜) 山田ムメヲ 敬称略
 (中之浜) 神田チエ・宮本角・磯野廣光・二宮廣海・辻朝鶴
 (仁田之浜) 畑中オチ子
 (河内) 藤堂九十太郎・上田多丸
 (湊浦) 佐々木亀吉・松岡信芳・藤堂ノブヲ・三好ミサホ・菊池キミエ・由中モト・吉川米一
 (小中浦) 渡辺イトエ・石崎朝道
 (中浦) 矢野次郎市・奥田マサコ
 (川永田) 阿部ヤスノ・菊池家光・吉川寅吉・菊池茂・梶谷サカエ・篠沢直之・宮脇ハツミ・竹嶋始・竹嶋トキコ・篠沢重子・西平寿衛・朝倉サカエ
 (豊之浦) 中田百歳・上田マサエ渡辺ミサコ・中田磯太・福島マサコ
 (伊方越) 神野植一郎
 (亀浦) 宮本ミル
 (向) 山内ヨシエ
 (畑) 広野房一・畑木敏治・廣野イチヨ
 (須賀) 岡村吉治・米沢ハツ子・亀田興平治
 (久保) 菊池武徳・久保興十一
 (西) 松田関太郎
 (二見) 金山ヲセキ・成本久之丈・山田マサエ・道上トクエ・成本覚一・成本トヲ
 (加周) 二宮ツルヨ・笹田ヤス子・櫻尾照子
 (田之浦) 大野増高・山岡タキノ・山下春義・北野カネ子・古田カズエ
 (古屋敷) 小島亨三・濱田孝三
 (鳥津) 道元カ子・鳥津清士・鳥津高吉・竹上キクエ・上田ハツ子・鳥津トク・上田ウタ子・竹上ミチ子・道元豊
 (伊方越) 大成右衛門・塩崎キクコ・高岳久之丈・古田弥作・久保茂

町のわだい まちの話

県消防操法大会で準優勝

第十六回愛媛県消防操法大会が八月二十六日、県消防学校大規模訓練場で開催され、小型ポンプの部で第十五分団(西・久保)が準優勝に輝きました。

この大会は、県消防協会主催で二年毎に開かれていられるもので、県内各地区からポンプの部に十六チーム、小型ポンプの部に十七チームが出場。第十五分団は上田広幸分団長の指揮のもと、すばらしいチームワークと日頃鍛えた練習の成果を充分に発揮し、みごと準優勝を飾りました。

出場された選手の皆様は、この日の方です。

指揮者 上田広幸
 一番員 林 栄作
 二番員 井上喜樹
 三番員 根来六公
 補助員 井村重也

ここの人 だあ〜れ

今日は釣れませんが、とのおんぴり魚つりをしていた川永田のおじいちゃんです。この人だあ〜れ。

第5回 国民文化祭 愛媛'90

『架けよう文化の橋・交流の橋』をテーマに10月19日から28日までの10日間、第5回国民文化祭・愛媛'90が開催されます。

町内でも、10月13日、三崎・瀬戸町とリレーされた「文化の火」が引継かれます。当日は、川永田から役場前まで伊方小学校校鼓隊のバレードや五ツ鹿踊りなども披露されますので、皆さんの声援をお願いします。

日時/10月13日午後3時〜
 場所/町役場前

国への苦情や要望

一日行政相談所の開設

毎日の暮らしの中で、国の役所、特殊法人(公庫・公団・JＲ・NTTなど)、県や町の仕事についての苦情や意見、要望はありますか?

総務庁では、行政に対する意見や要望を広く住民から聴き、できる限り改善を図ろうと「行政相談」を行っていています。

皆さんからの相談を受けて関係行政機関に適切な処理をうながし、相談を解決してくれる心強い味方が「行政相談委員」です。本町の相談委員

一日行政相談所

(日時) 十月十八日(木)
午後 時15分

〔場所〕 町見公民館
〔相談内容〕
○登記・戸籍・人権・国稅、年金・保険・社会福祉、道路・河川・公害・消費生活などの行政相談。
○行政サービスの改善に関する意見、要望。

集団食中毒防止月間

九月一日から三十日までの一か月間を「集団食中毒防止月間」と定め、全国一斉に食



品による事故をなくす運動を実施してまいります。

次のことに注意して食中毒防止に努めましょう。

- 食品は新鮮なものを選び、扱う前には必ず手を洗う。
- ぬすみ・ゴミフリ・ハエ等を駆除しましょう。
- 調理した食品はつとめて早く食べましょう。
- 食品の加熱は十分に行いましょう。
- 暴飲暴食はやめましょう。

お礼

大成の石口晴久さんから、八月二十日に亡くなられた御母堂様の香典返しとしてご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

まごころ銀行

九月二十一日から三十日まで十日間、「秋の全国交通安全運動」が実施されます。

今年の主な運動目標は、若年運転者による無謀運転の防止、シートベルト、ヘルメットの正しい着用の徹底、違法駐車等の正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけ、事故防止に努めましょう。

伊方・町見駐在所

町内の交通事故 (9月1日現在)

発生件数	55件
(8月)	15件
負傷者数	22名
(8月)	6名

青春 NETWORK

竹村一行さん (中之浜=27歳)

今回の「青春ネットワーク」は竹村一行さん(二十七歳)を紹介いたします。

県立農業大学校を卒業と同時に帰町。専業農家の後継者として、みかん作りに

取り組んでいる。「極早生はこれからが収穫の時期で忙しくなるが、自分達が一生懸命育ててきたみかんを収穫している時にとても喜びを感じる。また

物を作る事等、今後の農業について真剣に考えている。明るくおらかな性格で、協調性に優れた竹村さん。趣味はスポーツ。特に野球やソフトボールで、体を

「日本一のみかん作り」を目指して



動き汗を流した時がとても爽快と話す。

来年にオレンジの輸入自由化を控え、今後みかん農家として生き残るために消費者のニーズに合った品質の良い物を作りたいと意欲を燃やす竹村さん。日本一のみかん作りを目指して、頑張ってください。

人の動き

平成2年8月1日現在
世帯数2,619戸(-1戸)

人口 8,123人 (男3,949人(-3人))
(-5人) 女4,174人(-2人)

えんむすび

平成2年7月1日
7月31日
氏名 本籍地

お誕生おめでとう

よい子に育ってください
平成2年7月1日
7月31日
保護者 続柄 児名

おくりやみ

平成2年7月1日
7月31日
死者 年齢 住所

巡回交通事故相談

県の巡回交通事故相談が、「秋の全国交通安全運動」にあわせて開催されます。

当日は、弁護士・損害保険の担当者など交通事故処理の専門家が相談に応じます。お気軽に

軽にご利用ください。

(日時) 九月二十七日(木)
午前10時から午後四時まで
(場所) 伊方町民会館・第一研修室

第9回 **年金ふれあい教室**

〔講座内容〕 年金の話・民俗の話・トッポ話

宇和島1泊2日コース

とき 10月30日火・31日水
ところ 国民年金保養センター「うわじま」
※ 4,000円(1泊2食付)

〔参加者資格〕
国民年金の加入者・年金受給者
ご希望の方は下記へはがきか電話でお申込みください。10月9日〆切。

(財)愛媛県国民年金福祉協会
松山一乗町4丁目4-2
県庁国民年金課内 ☎(0893)41-2476

クレジット リース 110番

日時 十月四日(木)
午前10時~午後5時
電話 〇八九九二二九六〇〇
愛媛弁護士会

よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう

—ふれあい—

いかた

教育だよ

(発行) 伊方町教育委員会
 (編集) 社会教育課
 (印刷) 豊豫社



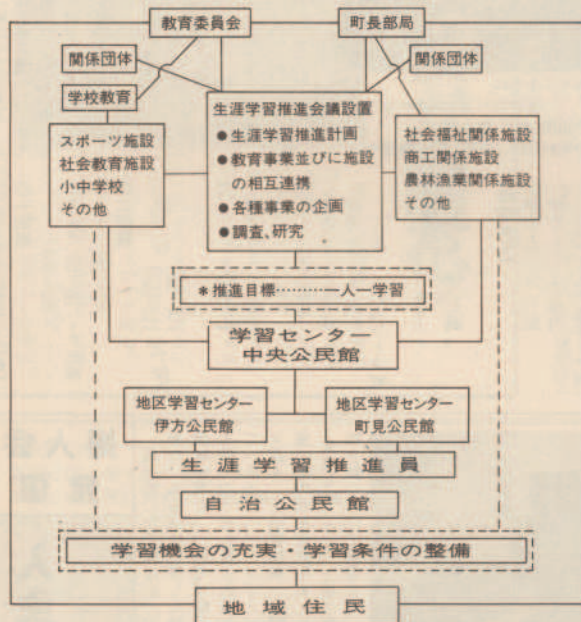
一人一学習運動

推進組織の設置を決議

《生涯学習推進大会開く》

生涯学習社会の実現をめざす推進組織づくりを考える、を大会主題に、八月二十六日、中央公民館で生涯学習推進大会が開催されました。大会には教育関係団体役員をはじめ、経済団体・行政関係職員・教育関係職員ら二〇〇人が参加、それぞれの活動状況や研究成果を発表し、生涯学習推進体制のあり方について研究協議を行いました。また、大会決議が出され、生涯学習推進組織を設立する「一人一学習運動を展開する」が、参加者の賛同を得て決議されました。

伊方町における生涯学習推進体制



冒頭、主催者あいさつに立った福田町長は、「生涯学習の推進については数年前から行われていたが、今後は、推進体制(組織)を体系的に整備し、町として推進して行きたい」とあいさつ。

続いて阿部教育長より、「伊方町における生涯学習推進組織について」ということで、生涯学習推進会議の設置・設置要綱(案)等についての基調提案が行われました。これに基づき、三分科会で意見交換されました。

最後に、県教育委員会生涯学習課・波部課長補佐より、「生涯学習は、各人が自発的・意思に基づいて必要に応じて、自己に適した手段・方法を選択し、生涯を通じて行われる学習で、豊かに生きていくため自らの向上を目指す」と、活動自体に楽しみを見出すなど、広く促えることが大切である」との指導がありました。

今大会は、これからの生涯学習推進組織のあり方を見出すことができ、実り多い大会でした。

生涯学習振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律について、この法律は六月二十九日に公布、七月一日から施行され、大きく分けて、三つの事項について定めている。

第一は、生涯学習の振興に資するための都道府県の体制整備について、第二は、地域生涯学習振興基本構想について、第三は、生涯学習審議会についてである。

なお、市町村については、生涯学習の振興に資するための関係機関及び関係団体等との連携協力体制の整備に努めるものとある。

環境美化に尽された山下さんを表彰



伊方町生活運動推進協議会は、地域の環境美化に努められた山下庄松さん(大浜)を表彰規定に基づき、八月二十六日に行われた生涯学習推進大会の席で表彰しました。

山下さんは、昭和五十五年からお宮の境内や周辺の環境美化、コミュニティ広場、遊園地の清掃、花木の手入れなどを毎日のように行ってきた。

八十三歳のことですが、かくしゃくとしておられ、これからも元気で奉仕活動を続けられることと思います。

▲撮影される山下庄松さん

毎月第3日曜日は「家庭の日」です

10月のテーマ “読書に親しもう”

(実践方法) ○家族みんなで読書を楽しみ、その感想を話し合ったり、本の読み方や選び方等について話し合おう。

第10回 西宇和郡体育祭 バドミントン女子

3年ぶり

3度目の優勝!

卓球女子も準優勝



真田団長を先頭に入場行進する伊方町選手団

九月二日、三崎町で第十回西宇和郡体育祭が行われ、バドミントン女子が三年ぶり三度目の優勝を果たしました。また、卓球女子も準優勝し、九月三十日、内子町で行われる愛媛スポーツ・レクリエーション祭地方大会に出場することになりました。

レーボール女子二部のように二回戦まで勝ち進んだものもあり、敗れはしたものの、来年への期待が膨らみました。各種目の成績は次のとおりです。

【バレーボール男子】
二回戦
伊方 0 (21-23) 2 瀬戸

【バレーボール女子・一部】
伊方 0 (13-21) 2 三瓶

【バドミントン男子】
伊方 1-2 瀬戸

【バドミントン女子】
伊方 2-1 瀬戸

【卓球男子】
伊方 1-4 三瓶

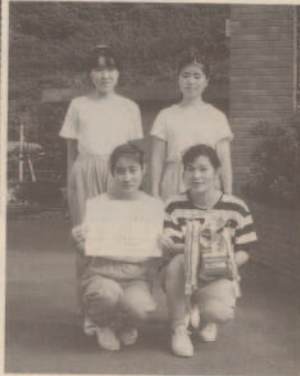
【卓球女子】
伊方 3-2 三瓶
伊方 1-4 保内

【軟式野球】
伊方 1-2 三崎

【ソフトボール三十代】
一回戦
伊方 7-4 瀬戸

【ソフトボール二十代】
二回戦
伊方 0-8 三崎

【ソフトボール社年】
伊方 2-7 保内



優勝カップを手に喜びのバドミントン女子前列の山岡(左)、宮本(右)後列の岡村(左)、笹田(右)の各選手



口碑と立ちばな一(奥) 岩見翁頌徳碑

「男命の純情は燃えて輝く金の星、夜の巻の虚空に暮るの思いを誰が知る。」
夏も終わり、秋の訪れとともに、ふとこの歌が脳裏をかすめたのはなぜだろう。夏の余韻のせいだろうか。

それとも再び帰ってこない青春への惜別の情だろうか。岩見翁常翁の頌徳碑が、丸町は海南山天徳寺前の児童遊園地の片隅にある。碑の前には、大きな蘇鉄が茂り、周囲を桜の木に囲まれ、春には桜花咲く中にある。岩見翁常翁頌徳碑文

岩見翁ハ明治二四年十一月二九日旧町見村奥部落二生取ノ気性ニ富ニ向学心篤ク青年時代青年文庫ヲ創設シテ青年ノ指導育成ニ努メ長スルニ從イ村民ノ信頼厚ク

村会議員ニ当選シ教育委員森林組合長町見農協組合長本村天徳寺理事長等ノ要職ニ於テ手続ヲ発揮昭和四十年十一月十九日松山山地方裁判所長ヨリ調停委員シテ表彰ノ光栄ニ浴スル等村内外ニ於ケル翁ノ功績ハ世ノ絶トスルニ足ル故ニ於テ同志相謀リ頌徳碑ヲ建立シテ翁ノ徳ト功績ヲ贊ス永ク其ノ名ヲ後世ニ伝フエントス 昭和四十一年

岩見翁は、自らも健康に留意し、拱生を重じ、家族にも仕事は分担してでもできるが、身体をいといと「養生訓」の持ち主であったという。たいへんな働き者で、農家の仕事は妻に託し、冬は杜氏として、普段は鉱山夫として勤める。また、外にあってはこれを厳しく戒め、何事にも

慣れることなく、人に会っては優柔で、世のため人のために我が信念を買きとす人だったともいう。内にあつては、家のよき理解者となり、家族を愛しみみ知に長ける性格で、家の中は明るく朗かであったという。昔の青年たちよ、若い頃を今一度振り返ってみてはいかがか。

「女の一生」という本には出合ったが、「男の一生」は目にしたことがない。男性諸君も少年のころは燃えて輝く金の星であったはず。岩見翁に肖るのではなからぬが、現在の高齢化社会なるがゆえに、いつまでもこの気持ちを保持させて、生き生きと人生を歩みたいものである。



平成2年度 伊方町同和教育研究大会

と き/10月27日(出)9:30~15:30
ところ/伊方町中央公民館

※午後からの講演会ほどなたでも聴講出来ますので多数ご来場下さい。

講演 13:50~

講師 全国同和教育研究協議会常任委員
中山 英一 先生

演題 「みんなの幸せのために 命を守り 人権の確立を目ざして」

会 信 婦 人 会 人まにトライ (中浦婦人会)

最近特に出不精になって来た。ある会に欠席した時後味が悪く、これでは駄目人間になつてしまふと思つて居るところへ、タイムイング良く、生活学校第一回開催の案内状を受け取る。これもまた、ためになる。町内でも一人暮らしの老人が増加しており、寝たきり老人の居る介護者の切実な苦勞話を聞き、私も「まだ〇〇才、避けては通れない道です。是非伊方町にも老人対象のお互いの心が和むような、そんな施設が欲しいと痛切に思う。」

今日から「ペン・インク」前向き人生で「心におしゃれ」を忘れずに、生涯青春で暮らしていこう。

写真は9月17日に行われた生活学校の様子

カメラ・ルポ

河内で ふれあいスポーツ祭



八月二十六日、河内地区でふれあいスポーツ祭が行われ、小学生から老人まで二〇〇人を超える住民が参加し、ベタンク・ゲートボールで汗を流しました。また、食生活改善グループがおにぎりコーナー、行事保存会がカキ氷、わた菓子・トウキビなどの出店コーナーを設け、地区住民総出で楽しんだ一日でした。

団体対抗で行われたゲートボール



夏に桜が開花!?

伊方郵便局横にある明治百年記念公園の桜の木を見上げると、何を勘違いしたのか桜の花が二輪咲いていました。撮影したのは九月六日ですが、数日前から咲いていたようです。このような現象はたまにあるようで、気温が下がった後、急に上がった時などにみられるようです。普段何げなく見ている事でも、気をつけて観察していると、何か珍らしい事に気付くかもしれませんね。

イギリスから 英語の先生来校

学校通信



英語の発音指導をするマイケル先生

西宇和郡五町が協同で外国青年を招き、中・高校生に対し語学指導を行うと共に、地域住民との交流を行う「外国青年招致事業」がスタートしました。

今回招いたのは、イギリス出身のマイケル・ミエリニチエック先生で、瀬戸町に居を置き、郡内五町の中学校を訪問して英語の発音等の指導を行います。伊方町へは九月六日、伊方中学校に来校し、一年生の授業を行いました。生徒たちはマイケル先生の本場の発音に戸惑いぎみでしたが、一生懸命発音を聞き、先生の質問に受け答えしていました。指導期間は来年七月末まで、伊方町には四十四日割当てられ、伊方中学校、町見中学校で指導されます。この事業の推進により、西宇和郡内の英語教育の向上が期待されます。

論文募集 [文化振興財団]

愛媛の文化について—あなたが考えていることを聞かせて下さい。

主 題 次の2つのうちから、いずれか1つ選択して下さい。

- 地域文化の振興
生活文化の育成・高齢化社会の文化振興・情報化社会の文化振興・住民参加の方法・文化的行事・催事のアイデアほか具体的な振興策等。
- 地域文化の研究
歴史・考古・地誌・産業・民族・文学・言語・美術ほか郷土研究に関するもの。
- 400字詰め縦書き原稿用紙20枚以上50枚以内。
- ※応募作品は未発表のものに限ります。

完先及び締め切り
〔完 先〕 〒790 松山市一番町4丁目4の2 愛媛県文化振興財団<論文>係
〔締め切り〕 平成3年1月5日(出) 当日消印有効

賞
●最優秀(1点) 賞状と副賞20万円
他 ●優秀(2点) ●佳作(数点)
※応募論文は一切返却致しません。
◎お問合せは愛媛県文化振興財団<論文>係 ☎0899(46)3545まで

伊方壮年会 ソフトボールで交流



若い頃のように体は動きません

伊方壮年会では、会員相互の親睦をはかろうと九月九日、伊方中学校グラウンドでソフトボール大会を開催しました。壮年会が組織されている五地区の内、大浜・河内・川水田から四チームが参加し、好プレー、珍プレーが出るたびに大きな声援が送られていました。

ある年配の会員は、「年をとると体が動かんが口だけは元気なわい」と話されていました。勝ち負けでなく親睦が目的の大会だっただけに、試合後は酒を酌み交わし一層親睦を深めました。

家庭教育資料

自分の力で こんな子に 育てたい

「私は、公園で売店を経営しています。ある日、遠足に来ていた6年生の男の子が泣きながらやってきて、電話をかけた始まりました。べんとうの「はし」を丸めた母を非難し、すぐ持って来るように言っています。私は、男の子に割ればしをあげました。後で聞くと、彼の学業成績は、クラスでトップだ

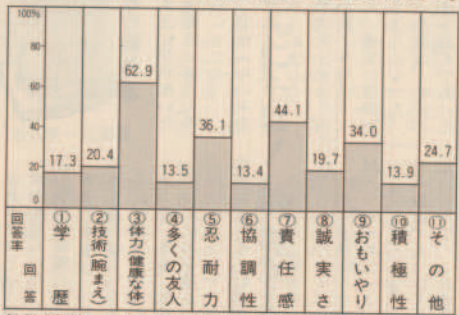
6年生になれば、こんなとき、母親を非難せず、自分で自分のことができる子に育てたいものです。勉強だけというのではなく、親や周りの人へのおもいやりといった、人間としての心を育てることを忘れてはなりません。

仲間との遊びを通して、活動性や自発性が育てば、意欲のある積極的な子供になるでしょう。勉強をする、自分で調べたり、試したりする、やる気のある子供になると思われたい。

困難にであって、克服していくことができる力を育てることが、大切ではないでしょうか。



参考
あなたは、中1生のお子さんのために、何を身につけさせたいと思いますか。希望順に三つ選んでください。



'90.10月

くらしのカレンダー

11 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
④	5	6	7	8	9	10
⑪	12	13	14	15	16	17
⑱	19	20	21	22	⑳	24
㉑	26	27	28	29	30	31

■……保 健 ★……衛 生

9月 30(日)		16(火)	○人権相談(町民会館 10:00~15:00)
10月 1(月)	○体カづくり強調月間 ○高齢者雇用促進月間	17(水)	○秋祭り
2(火)	■超音波検診(豊之浦小学校体育館 9:00~11:00) ■つわぶき会(川永田コミュニティーセンター 13:00~16:00)	18(木)	○心配ごと相談(町見公民館 13:00~15:00) ○一日行政相談(町見公民館 13:00~15:00) ■三種混合予防接種1期2回目(保健センター 13:30~14:30)対象:昭和62年9月1日~昭和63年8月31日生まれ
3(水)	■超音波検診(町見公民館 9:00~11:00)対象:須賀、久保、西 ■栄養学級(仁田之浜集会所 9:30~14:30)	19(金)	★不用犬回収日(役場・町見支所までお連れ下さい) ■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:30) ■風疹予防接種(伊方中学校 13:30~14:30)対象:2年生女子
4(木)	■超音波検診(二見公民館 9:00~11:00)対象:二見、加間、古屋敷 ■リハビリ教室(町民会館 13:00~15:00)	20(土)	■母子健康手帳交付(保健センター 9:00~11:00)
5(金)	○心配ごと相談(町民会館 13:00~17:00) ■基本健康診査(田之浦集会所 7:30~11:00)	21(日)	
6(土)	■母子健康手帳交付(保健センター 9:00~11:00)	22(月)	■調理士研修会(町民会館 11:00~16:00) ■オレンジ会(伊方公民館 9:00~15:00) ■生ワクチン授与(保健センター 13:30~14:30)
7(日)		23(火)	■幼児教室(町民会館 10:00~15:00)対象:1歳6ヵ月児 ○税の徴収(向公民館 9:30~12:00)(町見支所 13:00~15:00)
8(月)	■大成健康栄養教室(大成集会所 10:00~13:00) ■健康相談(大成集会所 13:00~14:00) ■むし歯予防教室(町見公民館 13:30~15:30)	24(水)	■伊方町家族会結成大会 ○税の徴収(大成老人憩いの家 9:30~12:00)(鳥津公民館 13:00~15:00)
9(火)	■超音波検診・健康相談(町見公民館 9:00~11:00)対象:奥、向、畑 ■健康相談(二見公民館 13:30~15:00) ■風疹予防接種(町見中学校 14:00~14:30)対象:2年生女子	25(木)	■管内合同家族研修会(八幡浜市 10:00~) ○税の徴収(二見公民館 9:30~12:00)(田之浦集会所 13:00~15:00)
10(水)	○体育の日	26(金)	○税の徴収(豊之浦集会所 9:30~15:30)
11(木)	■高齢者調整チーム部会(町民会館 13:30~15:00) ■三種混合予防接種1期2回目(九町診療所 13:30~14:00)対象:昭和62年9月1日~昭和63年8月31日生まれ	27(土)	■母子健康手帳交付(保健センター 9:00~11:00)
12(金)	■リハビリ訪問(13:00~) ■健康相談(大浜集会所 9:30~11:00)(13:00~15:00)	28(日)	
13(土)	■母子健康手帳交付(保健センター 9:00~11:00)	29(月)	■健康相談(豊之浦集会所 10:00~11:30) ■健康相談(保健センター 13:30~15:00)対象:湊浦 ■生ワクチン授与(九町診療所 13:30~14:00)
14(日)	○秋の行政相談週間(~20日) ■日曜がん検診 {胃・大腸がん(保健センター 7:00~9:00) 子宮・乳がん(保健センター 13:00~14:00)}	30(火)	■乳児健診(保健センター 13:00~14:30)対象:平成元年12月・平成2年1・5・6月生まれ ■献血(四国電力関係)
15(月)	■1歳6ヵ月児健診(保健センター 13:00~14:00)対象:平成元年1・2・3月生まれ	31(水)	■献血(町内)

あなたが選ぶ あなたにあった 献血を!



生命を支えるために欠くことのできない血液。こうした血液は科学技術が発達した現在でも人工的に作りだすことができません。

やさしい思いやりで育まれて尊い生命が救われる献血。このささえあいの輪が大きく広がって、わが国では昭和63年末までに延1億人以上の方から献血のご協力をいただいで

おります。

また、昭和61年4月からは従来の200ml献血に加えて、新しく400ml献血や成分献血が進められています。

一方、医学の進歩にともなって輸血はこれまでの全血輸血から必要な血液成分だけを輸血する成分輸血へと移行しております。

皆さんの献血運動への温かいご支援とご参加をお願いいたします。



献血安全基準表

	200ml献血	400ml献血	成分献血	
			血浆献血	血小板献血
1回献血量	200ml	400ml	400ml	400ml以内
年齢	16歳~64歳	18歳~64歳	18歳~64歳	18歳~54歳
体重	男子 45kgを超える人 女子 40kgを超える人	男女とも50kg以上	男女とも50kg以上	男女とも50kg以上
血液比重	1.052以上	1.053以上	1.052以上	1.053以上